

第2回 富里市基本構想審議会 会議録

日 時	平成22年5月28日(金) 午前10時
場 所	富里市役所 本庁舎3階第3会議室
出席委員	杉山会長，寒郡副会長，佐藤委員，秋本委員，櫻井委員 青木委員，荒木田委員，岡野委員，中野委員，根本委員 宮川委員，磯部委員，岸本委員，高木委員
欠席委員	遠藤委員
事務局	総務部長，総務部企画課長 総務部企画課企画調整室長，総務部企画課企画調整室員（2名）
傍聴者	なし

[会議次第]

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 会議の公開と会議録について
 - (2) 基本構想骨子（素案）のパブリックコメント結果と対応方針について
 - (3) 基本構想（素案）について
 - (4) 基本計画骨子（素案）について
- 4 その他
- 5 閉会

[会議概要]

	議題（１）会議の公開と会議録について
事務局	資料にて説明
秋本委員	定員８名の根拠を伺いたい。発言者の表示は、責任を持って発言するという意味で、名入りで公表すべきではないか。
事務局	会議室の広さからの提案で、物理的に許せば、増やす方向で検討していただきたい。
佐藤委員	入れればよい話で、増やせる方向で検討すると８名から１０名の間になる。
杉山会長	できれば、数は決めたい。見た限りでは、１０名くらいではないか。
中野委員	８名で決めて、あとはその時の状況によって判断すればよいのでは。
岸本委員	先着順となっているが、たくさん来たときに、公平を図るためには、抽選がよいのではないか。
事務局	何時までに申込をすると決めてないので、順番に入っていたくのが、合理的かと思うので、先着順とした。
杉山会長	定員は８名、あとは様子を見て入れられるときは入れ、そのときの裁量で諮ることにするということによろしいか。
委員	意義なし
杉山会長	定員については以上のとおりでお願いする。発言者の表示については、他にご意見がなければ、名入りになるがよろしいか。
委員	意義なし
杉山会長	発言者の表示については、名入りとする。
委員	意義なし
杉山会長	会議の公開と会議録については以上のとおりとする。

事務局 杉山会長 中野委員 事務局	議題（２）基本構想骨子（素案）のパブリックコメント結果と対応方針について 資料１，参考資料１にて説明 意見があればお願いしたい。 モノレールに関して，限られた１０年の中で現実考えた場合に無理ではないか。 「課題として検討してまいりたい」ということで，この時点で載せるということ考えてはいない。
事務局 会長 寒郡副会長 秋本委員	議題（３）基本構想（素案）について 資料２，参考資料２にて説明 意見があればお願いしたい。 ２つ程検討していただきたい。今後の高齢化社会を考えると，単に高齢化するだけでなく，一人住まい世帯が多くなると思う。高齢化したときの全体の社会構造の中で，例えば，高齢者の買い物や公共交通など富里市はどうしていくのか考える必要がある。高齢化したことによって，どういうことが必要で，どうなるのかという定義が薄いのではないか。 「臨空都市」について，今後「臨空都市」である利点をどのように享受していくのかが足りない。最終的に３０万回になったときに富里がどうやっていくか。酒々井インターチェンジができて，空港の南部のゲートがあり，完全なる流通の拠点になってくると思う。もっと産業的なこととして，どういうことを基盤整備してあげればもっとこの産業が発展するのではないかというテイストが非常に弱い。物流など「臨空都市」の「良さ」をもっと入れるべきだと思う。 将来人口について，既に富里市はマイナスに転じているが，「緩やかな人口増加が見込まれます」と基本構想で根底に謳っている。今まで行政は全部右肩上がり計画をつくってきたが本当にそれでよいのかと疑問に思う。空港があるから自然増加

	で微増していくというのは、もう通用しないと思う。空港の利点を享受し、それによって人口増，発展を目指していくという姿勢で臨むべきではないか。もう少し基本構想の中で意識を持ったほうがよいと思う。 公共交通について、住民のアンケートを見ると、公共交通に対しての要望がすごく高い。満足度が一番低い。交通を含めて富里市が運営するのはいかがかとは思いますが、新交通とか都市基盤は、物によっては民間事業者に担ってもらえる面もあるわけで、その辺は財政をきちっと勘案した上で、引き続き民間事業者の活力を利用した形でも検討し続けるべきだろう。 「臨空都市」について、「臨空都市」と謳うのであれば、受益するか享受するかを積極的にどうするかという形の構想を書かないと、結果としては総花的にどこにでもある基本構想になりかねないので、きっちりと検討し、議論していきながら、執行部に考えていただきたい。
杉山会長	今回の意見を事務局で受け、素案を練り直し、パブリックコメントを実施するのか。
事務局	これは素案なので、本日のご意見とともに、市内部でもさらに検討を重ねていきたい。
杉山会長	ここでの意見とパブリックコメントでもらった意見などを検討して次回に反映していくのか。
事務局	そのとおりである。
佐藤委員	従来は、「希望」が中心の計画で、結果はどうだったのかがかなり反省点としてある。現在の富里の経済事情や将来的な見通しも考えながら、夢も希望もないというのも変な話ですから、そういうことを考えながら計画をつくっていくことがよい。富里にモノレールは今の財政ではありえない話で、あとは、高齢者対策をどう配慮してやっていくのかという現実がある。現実と夢をバランスよく考えていただきたい。
高木委員	パブリックコメントなど市民から意見をもらう場合、希望や夢の溢れるような意見が上がってくる。市の財政などを考えた上での意見ではないので、市ができることできないことをある

中野委員	程度明らかにして、市民から意見をもらわないと、絵に描いた餅になってしまう。 人口構造の変化について、人口減少、高齢化社会と書いてあるが、富里は今、わりと住宅が売れている。値段も手ごろで、そういう家庭には子どもが2～3人いる。高齢化はしょうがないが、何も国にあわせて人口減少としなくてもよい。富里としてのやり方を入れていくべきだと思う。
岸本委員	富里の人口が急激に増えた時代は昭和55年から平成7年くらいで、自分で車を運転していた人が近い将来、半分以上の人は運転出来なくなる可能性がある。また、一人暮らしの老人が今後増えていくと思う。急速な高齢化、自分で動ける範囲が狭まる人、そういうのを見合わせながら着実にこれからシステム化できるものを重点的にやっていったほうがよいと思う。手近なところから予算の範囲内でできるような計画を立てて、着実に実行していけたらよいと思う。
岡野委員	市民の意識のグラフを見ると、約30%強が住みづらいと言っている。この原因は何かを確かめ、基本構想の中でどう改善していくかが必要ではないか。 臨空都市については、あまりにも受け身すぎるのではないか。もっと積極的に、富里市のほうから国際空港のメリットを打ち出していくことも必要ではないか。 公共交通について、新交通としてもっと経済的な交通手段を考え、モノレールを単に課題として検討するのではなく、新しい交通システムを検討していくほうがよいのでは。
青木委員	独居高齢者マップづくりを実施し、この方達の動向を見守るための仕組みをつくる必要がある。やはり高齢者対策等は喫緊の課題だと思う。 基本構想の中で心配なのは、羽田の国際化に伴って、成田がこのまま今までどおり右肩上がりで伸びていくのか危惧している。そういうところを少し考えていただきたい。
宮川委員	民生委員でも高齢者の世帯等の対応をしているが、特に両国ではスーパーがなくなって独居の方が買物に行くのが大変だと

	ということで、施設に入ろうと考えている方もいる。また、バスの路線が変更になってバス停がなくなり、運転も出来ないのでは引越さなければいけないという方も結構いる。高齢者の世帯に注文をとるとか、インターネットでも何でも注文ができるなど、週に1回でもそういうことが出来れば、本当に助かるのではないか。
荒木田委員	計画を立てる上では、交通は交通というように考えず、一緒に考えられるものは同じところに計画として優先順位に入れていかないと、別々に考えて計画が前半後半に分かれてしまわないように、早急にすべきものと一緒に出来るものは考えて計画の中に入れていったほうがよいと考える。
櫻井委員	事務的経費の中の扶助費が膨大になっている。社会保障制度の中でも福祉ニーズが多様化している現状を踏まえると、高齢化を含めた中で福祉行政をどうやっていくか。本来であれば、基本構想としてしっかりと位置づけをしていくというのが、それぞれの自治体の仕組みではないか。富里市として、構想の中でどうやって市民のニーズに答えていくかを明確にしていくべきではないか。高齢者福祉関係の期待度が高くなっていることを踏まえ、富里市はどういう形でその福祉ニーズに対して対応していくのかを明確な部分で示していただけるような理念のある構想を取り入れていただきたい。
杉山会長	意見もいろいろ出てきましたので、本日の意見を事務局でまとめて、第3回目の会議ではパブコメもあわせて皆さんの意見をくんで、検討したい。 参考資料2の将来像について、今日皆さんの意見がひとつになれば、ひとつに決めたいと思う。2案残して次に投票という形でもよいか。次回にはひとつにしたい。
高木委員	構想に関して、これだとなんでもやってくれそうな、なんでもしてくれるという、とても優しい感じがするが、それは大変厳しいことかなと感じる。 言葉で充実するのではなく、計画で充実するということをしていけばよいと思う。言葉で充実したのに現実にならなければ、

杉山会長	失望が大きいので、見直しが多くなる。もっとシンプルな言葉で書いておいて、計画のほうをきっちりやっていただければよいのでは。
中野委員	将来像についてN o 1 ～ 4 まで好きなところで手を挙げていただきたい。
事務局	「臨空都市」というのが引っ掛かる。将来いろいろな視野に入れたゾーンということを考えたら、むしろ「国際都市」のほうが私はよい。
岡野委員	「臨空」という言葉は「空港に近い」という意味で、空港の隣接地として他市にはない可能性がある。そして「臨空都市」という言葉には、「空港の波及効果を的確に受け止められる魅力ある国際都市をイメージしている」ということで「臨空都市」を使っている。
岸本委員	将来像のキーワードは「人」，「緑」，「輝き」，「未来」，「臨空都市」とほとんど同じなので、もう少し変えたほうがよい。このまちづくりの目標に展開するのがそぐわないような気がする。「市民，地域社会，都市のために」となると，市民のいろいろな要望，意識等が安全安心で暮らしやすく活力ある富里というのが浮かんでくるが，この4つではなく新しい将来像を考えられないか。
杉山会長	「人」，「緑」という項目からいけば，人口増加を図るため，富里に行ったら死ぬまで楽に暮らせるといような福祉等をセールスポイントにできるようなまちにしたい。そのためには若い農業労働者，農業従事者を富里へ導入する施策を考える必要がある。 それでは将来像について多数決をとりたい。 「1」・・・1人 「2」・・・9人 2番が多いので，2番を残したい。まだ意見がありそうなので，次回持ち寄った中で採用することがあればそれも考えたい。

	議題（４）基本計画骨子（素案）について
事務局 杉山会長	資料３にて説明 骨子については、皆さんたくさんの意見があると思うので、来週いっぱいまでに意見のある方は郵送していただくことでよろしいか。
事務局	計画の骨子については６月の中旬ごろから７月にかけてパブリックコメントをかけるスケジュールを組んでいるので、意見については来週いっぱいをお願いしたい。
寒郡副会長	基本計画骨子の施策３。高齢化社会を踏まえると、交通の問題とか商業の問題とか、いろいろなことが加味してくる。テーマとしてこういう形だと、ひとつの担当課で多分やるような話で終わってしまう。これはやはりいろいろな課でするような話にしていかなければいけない。
事務局	基本計画骨子は骨組みであり、ここに肉付けをし、その肉付けの仕方として現在考えているのが、それぞれについての現状、それに対して課題を語る。そして具体的な施策がその下にぶら下がってくるという構成で考えているので、今、提案していただいた件については、基本計画の中で対応が可能かと考えている。テーマの修飾語の話であれば、基本構想を直すことになってくるのかもしれない。
寒郡副会長	本当なら第１章の目標にまで置くべきかと私は思う。高齢者が安心して住めるまちづくりみたいなことがよいのかなと思う。
佐藤委員	１，２年前に東京の豊島区では、定着する人が少ないからということで、ワンルームマンションの建設に厳しい規制をかけた。富里でも葉山など集合住宅と称してアパートが極めて多くなっている。富里にとって一定の考えをしたまちづくりをしておかないと、将来的には心配するような結果になってしまうので、そういうところまで及んだ計画の考え方をしてほしい。
杉山会長	それでは、来週いっぱいまでに意見のある方は郵送していただきたい。

	「会議録確認委員」 第1回・・・根本委員，宮川委員 第2回・・・高木委員，中野委員 他に何かご意見がなければこれで会議を閉じる。
--	--